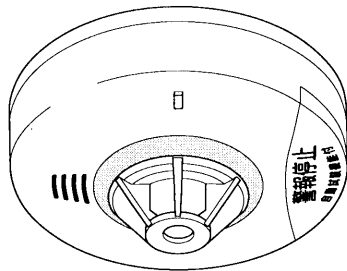


取扱説明書

住宅用火災警報器 **なるる**

AC100V連動形子器(熱式)



TCRG-1D

自動試験機能付

お買い上げありがとうございます。
ご使用にあたりましては、必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、正しくご愛用の程お願いいたします。なお本取扱説明書はいつでもお読みいただけるように大切に保管してください。
この取扱説明書は保証書を兼ねています。
販売店(工事店)様へ…工事が終了しましたら、保証書内に必要事項をご記入の上、必ずお客様へお渡しください。
本警報器は交換の目安として、10年を推奨します。

保証について

- ・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です。**
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにお問い合わせください。その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

- 1.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
- 2.離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

部品について

- ・修理のため取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- ・修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

形名 TCRG-1D

★お客様	お名前	ふりがな			様
	ご住所	〒□□□-□□□□			
★販売店	電話	市外	市内	番号	呼
	本体	1年		★お買いあげ日 □□年□□月□□日から	
住所・店名		電話			

東芝ライテック株式会社

〒140-8660 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル)

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

(右記をご覧ください)

(60814)A

1. 修理アフターサービス

・転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は

東日本地区(北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県) 044-543-0220

西日本地区() 上記以外 06-6440-4411

・新商品などの商品選び、お取扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は (03)3426-1048

FAX (03)3425-2101

(365日: 8:00~20:00受付)

電話で **24h**
365日 お応えします

・「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は

東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

※電話受付: 365日・24時間受け付けます。

※フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

2. 商品の概要

・この警報器は日本消防検定協会の試験に合格した鑑定品ですが、消防法に規定された「自動火災警報設備」には代用できません。

・この警報器は火災の熱をキャッチして警報音で知らせる住宅用火災警報器です。消火装置や火災防止器ではありません。

・お取り付けいただいた部屋、廊下などの部分的な警戒になりますので、万一の火災に対してより効果を発揮させるためには必要に応じて、複数の場所にお取り付けいただくことをおすすめいたします。

・この商品は、連動形親器:TKRG-1Mからの電源で動いています。連動形子器単品での使用はできません。連動形親器につきましては、連動形親器の取扱説明書を参照してください。

3. 警告・注意表示等の基準

この取扱説明書の中で使用している警告・注意表示等の基準は、下表の通りです。

 警告	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能の一部に重大な悪影響を及ぼす可能性がある場合。
 注意	取り扱いを誤った場合に、取扱関係者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合、または警報機能に悪影響を及ぼす可能性がある場合。

4. 警報器についての主な注意事項

⚠ 警告

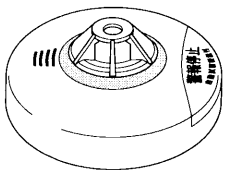
- 本警報器は火災で発生する熱を音で知らせるもので、消火装置や火災防止器ではありません。火災には十分ご注意ください。
- 次のような場合は警報音が聞こえないことがありますので、注意してください。
 - ・就寝中、薬を服用していた場合
 - ・酒を飲んで就寝した場合
 - ・ドアを閉めている時の隣室での警報時
 - ・交通、ステレオ、ラジオ、テレビ、エアコンなどの騒音が大きい場合
- 本警報器は熱をキャッチして警報を発しますが、次のような場合は火災を感知できないことがあります。
 - ・火のまわりの早い火災
 - ・爆発的な火災
 - ・ガス漏れ、薬品火災、電気火災など
 - ・くん煙火災
- 本警報器は屋内専用です。屋外でのご使用はおやめください。また、屋内でも水のかかる場所や水蒸気の発生する場所にも取り付けしないでください。
- 停電の場合、警報音は鳴りません。
- 殺虫スプレーなどを警報器に直接かけないでください。
- 警報器のすき間に針金などを差し込まないでください。
- 雨水のかかる場所、お風呂場などの高湿度環境または水蒸気や結露の発生する場所には取り付けしないでください。

⚠ 注意

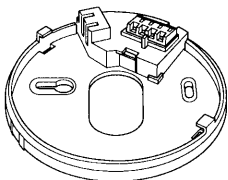
- 警報器は精密に調整されていますので、分解しないでください。
- 警報器の取り付け場所を移動させないでください。取付場所の移動や増設をお考えの場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

5. 商品のご確認

次のものが揃っていることを確認してください。



警報器 (1個)



取付ベース (1個)



取付ネジ (2本)



購入日シール

取扱説明書 (本書)
施工説明書

6. 各部の名称と働き

- 取付ベース位置合わせ目印突起
警報器を取り付ける際の目印に成ります。

- 表示灯
警報音に合わせて点滅します。

- 熱感知部 (サーミスタ)
このサーミスタで熱を感知します。

- ボタン
(警報音停止、テスト用)

- リングひも
(警報音停止、テスト用)

- 通電灯 (緑)
通電時に点灯します。

■警報音の止め方

警報音が鳴っているときに1秒程度ボタンを押すか、またはリングひもを引いてください。

■テストの方法

通常時に1秒程度ボタンを押してください。

くわしくは裏面の「定期的なテストのお願い」を参照してください。

注意



リングひもを引く際、必要以上の力で強く引き続けしないでください。警報器が壊れたり、リングひもが切れるおそれがあります。

7. 警報器の作動

設置されているいずれかの警報器が熱を感知すると、接続しているすべての警報器が鳴り、火災をお知らせします。

■熱を感知すると

- ・熱を感知した警報器
「ピーッ！ピーッ！ピーッ！」と鳴り、同時に表示灯が点滅してお知らせします。
- ・連動している警報器
「ピーッ！ピーッ！ピーッ！」と連動して鳴ります。
この時、表示灯は点滅しません。

●警報音を止めたい場合

- ・熱を感知した警報器
警報停止ボタンを1秒程度押すかリングひもを引くと、連動している警報器も含め、警報音が止まります。
- ・連動している警報器
警報停止ボタンを1秒程度押すかリングひもを引くと操作した警報器のみ、警報音が止まります。

火災の状況に応じて、火元を確認し、落ち着いて避難してください。

119番へ通報するなど適切な処置をして下さい。

万一に備え、日頃の避難ルート、連絡先を確認することをおすすめします。

警 告	・警報音を発した時、警報器を取り外さないでください。
	・警報音停止中（約5分間）は熱を感知しても警報音は鳴りません ・室温が高い場合は約5分後に再び警報音が鳴ります。換気等を行い、室温が下がると警報音は自動的に止まります。

8. 自動試験機能と警報

自動試験機能とは、熱の検出部の異常など、熱が正常に検出できなくなった事を自動的にお知らせする機能です。

- 機器の故障を検出すると、故障検出モードに入り約8秒おきに（ピッピッピッ）と言う故障警報音と表示灯の点滅により機器が正常に機能していないことをお知らせします。
※故障警報音が鳴った際は、すみやかにお買い上げの販売店にご相談いただき、警報器を交換してください。
故障状態では、正常に火災を感知できません。

- 故障検出モード時に警報停止ボタンを1秒程度押すかリングひもを引くと、「ピーッ！」と言う音が鳴り、その後12時間、故障警報を停止させることができます。
夜間や早朝など、すみやかに警報器の交換ができない場合にご利用ください。
※但し、故障警報を停止している間は火災を感知できません。

- 故障状態であっても、その他の警報器でテストをした時は、連動テストとして「ピーッ！ピーッ！ピーッ！」と警報音が3回鳴ります。

警 告	警報器の発する故障警報は、警報器が正常に火災を感知出来ない状態にあることを意味します。
	また、警報を停止する機能は有りますが、故障警報停止中も火災は感知できません。 速やかに故障した警報器を交換してください。

9. 短絡監視機能について

連動形親器と連動形子器を接続する配線が短絡した場合、自動的にお知らせする「短絡監視機能」があります。

- 連動線が短絡すると、連動形親器が短絡警報として約8秒おきに（ピッピッピッ）と言う故障警報音を発しお知らせします。この時、表示灯は点滅しません。
（連動形子器は通電表示灯（緑）が消灯し、故障警報音は鳴りません。）

- 短絡警報中に連動形親器の警報停止ボタンを1秒程度押すかリングひもを引くと「ピーッ！」と鳴り、その後12時間、短絡警報音を停止させることができます。

※短絡警報停止中に連動形親器の警報停止ボタンを1秒程度押すかリングひもを引くと（ピッピッピッ）と言う短絡警報音が鳴り、短絡警報停止中であることをお知らせします。

短絡警報音が鳴った際は、すみやかにお買い上げの販売店にご相談頂き、配線の確認をしてください。

警 告	短絡状態では、連動形子器は火災を感知することはできません。また、連動形親器が火災を感知した際も連動形子器から警報音は鳴りません。
	

10. お手入れ方法

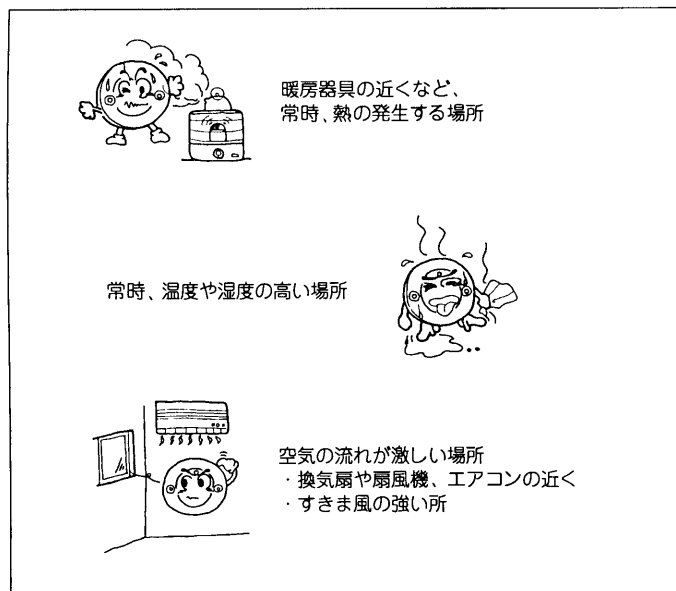
- ・毎年1度は、中性洗剤に浸した布を十分に絞り、警報器の汚れを拭き取ってください。
この際、熱感知部に触れない様、注意して下さい。

警 告	・警報器を水洗いしないでください。 また、ベンジンやシンナーを使用しないでください。故障の原因になります。
	・警報器の取り外しは、安定した台に乗って作業を行ってください。 転倒してケガをするおそれがあります。

11. 廃棄について

この警報器の廃棄については、各市町村で定められた廃棄方法に従ってください。

12. 次のような場所には取り付けないでください



- ・警報器は0℃～40℃の温度範囲内の場所に取り付けてください。

注意

警報器は必ず正しい取り付け場所に取り付けてください。

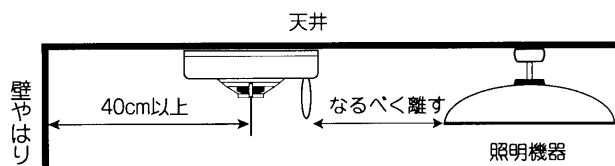


上図のような場所に取り付けた場合、誤作動の原因になり、正常に火災を警報できません。

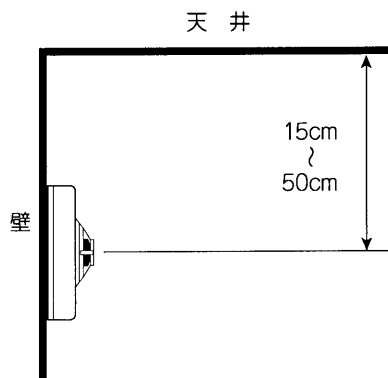
14. 警報器の取り付け場所

- ・警報器のボタンが操作しやすい位置に取り付けてください。
- ・居室の場合は各部屋の中心になる位置に取り付けると、より効果的です。

◎天井面は壁やはりから40cm以上離す。

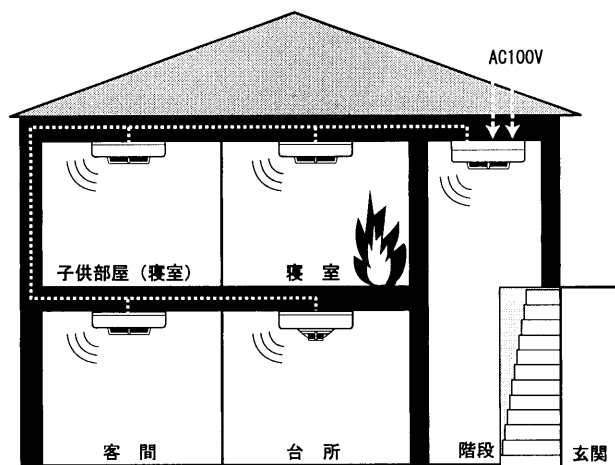


◎壁面は天井面下15cmから50cmまでの範囲



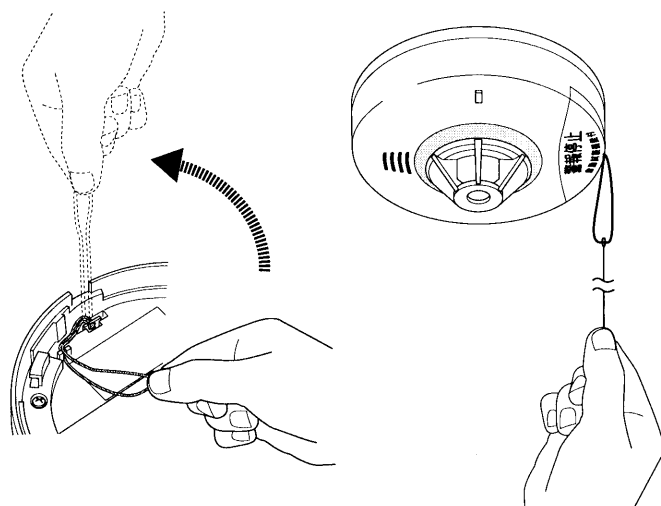
13. 警報器の取り付けについて

最大接続台数は、連動形親器1台につき連動形子器7台迄です。
取付場所を変更したい場合、増設される場合はお買い上げの
販売店までお問い合わせください。



15. リングひもについて

天井や壁に取り付けた時にボタンが押せない場合は、収納されているリングひもを出し、別途ひもを用意して、リングひもと結んでください。



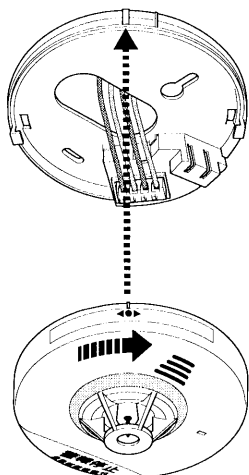
16. 警報器の取り付け方

警 告

警報器の取り付けは、安定した台に乗って作業を行ってください。
転倒してケガをするおそれがあります。



・連動形子器：TCRG-1D



取付ベースの位置合せと警報器の位置合せが取り付けた時に直線になるように警報器の底面部を取付ベースに当て、警報器が止まるまで右に回してください。

取付後は通電灯（緑）が点灯することをご確認ください。

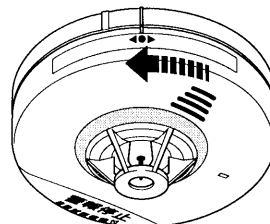
17. 警報器の取り外し方

警 告

警報器の取り外しは、安定した台に乗って作業を行ってください。
転倒してケガをするおそれがあります。



・連動形子器：TCRG-1D



警報器を左へ回し、取り外してください。

18. 定期的なテスト（機能・連動）のお願い

取付後は全ての警報器を定期的（1ヶ月に1度）に、作動するかテストしてください。

●テストの方法

1秒程度「警報停止」ボタンを押すかリングひもを引いてください。

・テストをした警報器（機能テスト）

「ピーッ！ピーッ！ピーッ！」と警報音が3回鳴り、同時に表示灯が点滅すれば正常です。

・その他の警報器（連動テスト）

「ピーッ！ピーッ！ピーッ！」と警報音が3回鳴ると正常です。

●テストをして上記の動作をしない時

・「故障かな？と思ったら」や「自動試験機能について」、「短絡監視機能について」を参照し、適切な処置をしてください。

・テストとしてボタンを押す、またはリングひもを引いてもテスト以外の操作をしていることがありますので注意してください。

1週間以上留守にされた時は、警報器が正常に作動するかテストしてください。

警 告

・テストの時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器を壊すばかりでなく、火災の原因になります。

・テストをする時は、安定した台に乗って行なってください。転倒・落下などの危険があります。



19. 故障かな？と思ったら①

警報器の症状とその原因、対処について下表に示します。

下記の対処を行っても直らない場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

①通常使用時の症状

症 状	原 因	対 処
火災でないのに警報音が鳴り、同時に表示灯が点滅する。	火災以外の熱（料理中の熱、ストーブやガスコンロの熱、直射日光などによる熱）を警報器がキャッチした。	警報器周辺の温度が下がるまでお待ち下さい。 火災以外の熱で警報音が多発する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
火災でないのに警報音が鳴る。（表示灯消灯）	他の部屋の警報器が熱を感知している。	火災でないことを確認の上、熱を感知している警報器（表示灯が点滅している警報器）の警報を止めてください。
8秒間隔で警報音「ピッピッピッ」が鳴り、同時に表示灯が点滅する。	警報器の故障です。	新しい警報器との交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

20. 故障かな？と思ったら②

②テスト時の症状

症 状	原 因	対 処
テストをしても 警報音が鳴らない。 (通電灯消灯)	ブレーカがオフになっている。	ブレーカをオンにし、通電灯（緑）が点灯したことを確認した後、再度テストボタンを押してください。
	停電状態になっている	停電が復旧し、通電灯（緑）が点灯したことを確認した後、再度テストボタンを押してください。
	警報器とベースが正しく取り付けられていない。	「警報器の取り付け方」に従って正しく取り付けてください。
	連動形子器の連動線の短絡です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	連動形子器の連動線の断線です。	お買い上げの販売店にご相談ください。
テストをしても 警報音が鳴らない。 (通電灯点灯)	警報音停止状態（警報音を停止してから約5分間）になっている。	5分後、再度テストボタンを押してください。
テストをすると、 「ピピッ」という音がする。 (通電灯点灯)	故障警報音停止状態（警報音を停止してから約12時間）になっている。	お買い上げの販売店にご相談ください。

21. 仕 様

型 名	TCRG-1D
種 別	定温式住宅用火災警報器
鑑 定 型 式 番 号	鑑住第18～89号
感 知 方 式	熱式
感 度	定温式65℃相当
定 格	DC7V、15mA
電 源	親器より供給 (DC7V)
最 大 接 続 台 数	親器1台に対し子器7台まで ※1
接 続 親 器	TKRG-1M
機 器 交 換 の 目 安	約10年間 ※2
音 量	1mにて70dB以上
外 形 寸 法	φ100×47.5mm
警 報 器 質 量	約116g ※3
使 用 温 度 範 囲	0℃～40℃
復 旧	自己復旧方式 ※4

注記)

※1：親器同士の接続は出来ません。

※2：使用環境により機器交換の目安が短くなることがあります。

※3：ベースの質量も含まれます。

※4：自己復旧方式とは、火災の熱が無くなると、自動的に警報が停止し、監視状態に戻る機能のことです。

その他、製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

メ

メ